

失敗しても挑戦することが成功につながる！

今、日本の社会は安全や安心が何より重視され、子どもに事故や失敗が起こらないような環境づくりが優先されています。一つの大きな事故の背景には300の小さな事故と30の中程度の事故があるといわれます。それらの中規模、小規模の事故を無くすことが大きな事故を無くすと考えられ、そのために環境が整えられ小さな事故の機会が減らされています。

「道の石につまずき、泣く我が子に対し、かつて日本の親は足元に注意しない我が子を叱った。それに対してある国の親は石に対して怒った。本人自身の注意を促すために我が子を叱る日本の親は健全ではないかと思えます。ところが、今は道路に石があることが悪いと役所に文句を言う。あるいはそれが通学路であれば学校に文句を言う。」この話をどう思われますか。

こんなことがどんどん進み、小さな事故や失敗をして痛い思いをする経験が減らされているように思うのです。

人生において失敗しないことなどがありえない。これから生きていく上で、起伏があったり、障害あったりするの、当たり前ではないかと思えます。私は失敗をたくさんしてほしいと思えます。いろいろな失敗を通してたくましく成長することにつながるのではないかと思えます。



発明王として有名なトーマス・エジソンを知っていますか。彼は生涯におよそ1300もの発明を行ったそうです。人々の生活を一変させるような発明をいくつもしています。白熱電球、映画、蓄音機、電話機の実用化などなど。彼は白熱電球のフィラメントを作る際に何回も失敗を繰り返したそうです。ある日、そんなエジソンの様子を見ていた人が、「1万回以上も失敗しているのだからもうやめたら？」と言いました。その時、彼はなんと云ったでしょう。彼は、「私は、失敗なんかしていない。こうすると上手くいかないという方法を1万通りも発見したんだ。」と答えたそうです。

失敗しない方法は何でしょう。それは挑戦しないことです。しかし、何も生まれません。失敗して命を落としてしまったら次につながりませんが、生きていれば必ず何かの役に立ちます。失敗を恐れずに挑戦することが大切であり、たくましく成長することにつながると思えます。